

NO.	種名称 (学名)	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期												参考文献
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
12	センダイムシクイ <i>Phylloscopus occipitalis</i>	スズメ目 ヒタキ科 ウグイス亜科	広葉樹林の枝先の葉の間でチョチョピーとさえずる、若葉そっくりのムシクイ類。アフガニスタン付近と日本海周辺で繁殖する2亜種があり、日本には後者が夏鳥として渡来し、北海道から九州までの各地で繁殖するが九州では少ない。	主に低山帯の落葉広葉樹林に棲息する。なだらかな場所の林よりも傾斜の急な林を好むのは、崖地に営巣する習性と関連したものだろう。オスは樹木の枝先でさえずるが、全身を現すことは稀でそのため姿をみることはやや難しい。体を水平にして枝から枝へと移動しながら、葉や枝についている昆虫類を捕まえる。ツツドリ分布する地域では、しばしば托卵の相手に選ばれる。	繁殖地では木の茂みの中を移動しながら「チョチョ、ピー：とか」「チョチョチョ、ピー」などとさえずる。この声を「焼酎一杯、グイー」と聞きなしている。また「チョチョチョチョ」とだけ鳴いて「ピー」をつけないこともある。地鳴きは「フィット、フィット」という声であるという。	上面は他のムシクイ類より緑色味が強く、下面はメボソムシクイほど黄色味がない。淡色の頭中央線があるが、はっきりしないこともある。	・	・	・	4	5	6	7	8	9	10	・	・	山溪カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社